



復興事業現地視察

平成30年5月18日(金)
14:30～16:45

八戸階上線湊橋歩道拡幅事業（県事業）	3
汐越線他階段整備事業	4
津波避難誘導標識等設置事業	5
第三魚市場 高度衛生管理型荷さばき所 A 棟	6
八戸港復旧・復興方針に基づく整備箇所（県事業）	7
2号橋向線道路改良事業	8
市川海岸堤防・陸こう整備（県事業）	9
海岸防災林造成事業（県事業）	10
五戸川地震・高潮対策河川事業（県事業）	11
橋向五戸線歩道拡幅事業（県事業）	12

◆事業概要

- ・整備路線 : 主要地方道八戸階上線(湊橋)
- ・整備内容 : ①橋梁歩道の拡幅
長さ=88m、幅=11.0→16.0m
②既存道路への歩道設置(片側)
長さ=51.5m、幅=11.0→13.5m
- ・事業期間 : H24~27年度
- ・事業費 : 約3億5,000万円

位置図(湊地区)



整備前

幅=11.0m



整備後

幅=16.0m



車道	@3.0m×2
路肩	@1.0m×2
歩道	@4.0m×2

汐越線他階段整備事業



◆事業概要

- ・整備路線 ①市道下条道線 ②市道下条館鼻線
③市道新湊15号線 ④市道汐越線
- ・整備内容 避難階段の拡幅整備
- ・延長・規格 L=277.3m
W=1.5m~3.0m→4.0m
- ・事業期間 平成24~28年度

◆交付金配分状況

・第1回 (H24.3)	19,375 千円
・第4回 (H24.11)	53,165 千円
・第6回 (H25.6)	77,035 千円
・第10回 (H26.11)	16,639 千円

計

166,214 千円

◆事業実施状況

(円)

	計画	実績
全体事業費 (A)	214,470,000	207,183,285
交付率 (B)	77.5%	77.5%
交付額 (A)×(B)	166,214,000	160,567,045

路線名 (計画延長、標準幅員)	H24	H25	H26	H27	H28
①下条道線(L=90.6m、 W=3.0m→4.0m)	測量・ 詳細設計	用地買収・ 補償	工事(H27.8完成)		
②下条館鼻線(L=74.0m、 W=2.0~3.0m→4.0m)		用地買収・補償	工事 (H28.3完成)		
③新湊15号線(L=45.3 m、W=1.5m→4.0m)		用地買収・補償	工事 (H28.6完成)		
④汐越線(L=67.4m、W =1.5~3.0m→4.0m)		工事(H26.7完成)			

位置図 (湊町字館鼻地区)



津波避難誘導標識等設置事業



◆事業概要

津波災害発生時に、地域住民及び来訪者が、迅速かつ適切な避難行動がとれるよう、誘導標識や避難目標地点標識、避難場所標識等を設置。

・事業期間：H27～28年度

◆標識の種類

①誘導標識



214箇所

浸水想定区域内の避難路上に、避難目標地点までの距離や方向等を表示

②避難目標地点標識



77箇所

浸水想定区域の外にある避難目標地点に、避難所までの距離や方向等を表示

③避難場所標識、ソーラー照明灯

避難場所標識



26箇所

浸水想定区域の外にある避難路の合流地点などに、避難所までの経路がわかる地図標識を設置（併せてソーラー照明灯を設置）

ソーラー照明灯



第三魚市場 高度衛生管理型荷さばき所A棟



➤ 施設の概要

- ・構造 : 鉄骨造一部鉄筋コンクリート造り
- ・延床面積 : 約3,810㎡
- ・バース数 : 2バース（2隻が同時に係留可能）
- ・特徴 : ① 漁船から陸揚げする際にフィッシュポンプを使用
② 流動海水氷（シャーベット状の海水）、ふた付き容器を使用し出荷
③ 工程の全てをオートメーション化

高度な衛生管理により
安全・安心な水産物を
消費者に届けることが
可能に！

国内初

平成27年3月 対EU輸出水産物食品取扱施設（EU HACCP対応型魚市場）に登録

被災直後



津波によって、完成間近だったA棟が破損するとともに、流されてきたタンカーが衝突し、岸壁も大きく破損しました。

復旧後

H24.9 復旧完了
H24.10.10 稼動開始



八戸前沖さば



ふた付き容器へ入れ出荷





H26. 7. 30 一部見直し

都道府県名

青森県

海岸名
(地区名)

八戸港

所管別

港湾局

凡例

- H26. 7月時点の港湾区域の防護ライン
- 漁港区域等の防護ライン
- 他工事による改良
- 既存施設等



整備後 ①



整備後 ②

①防潮堤の整備

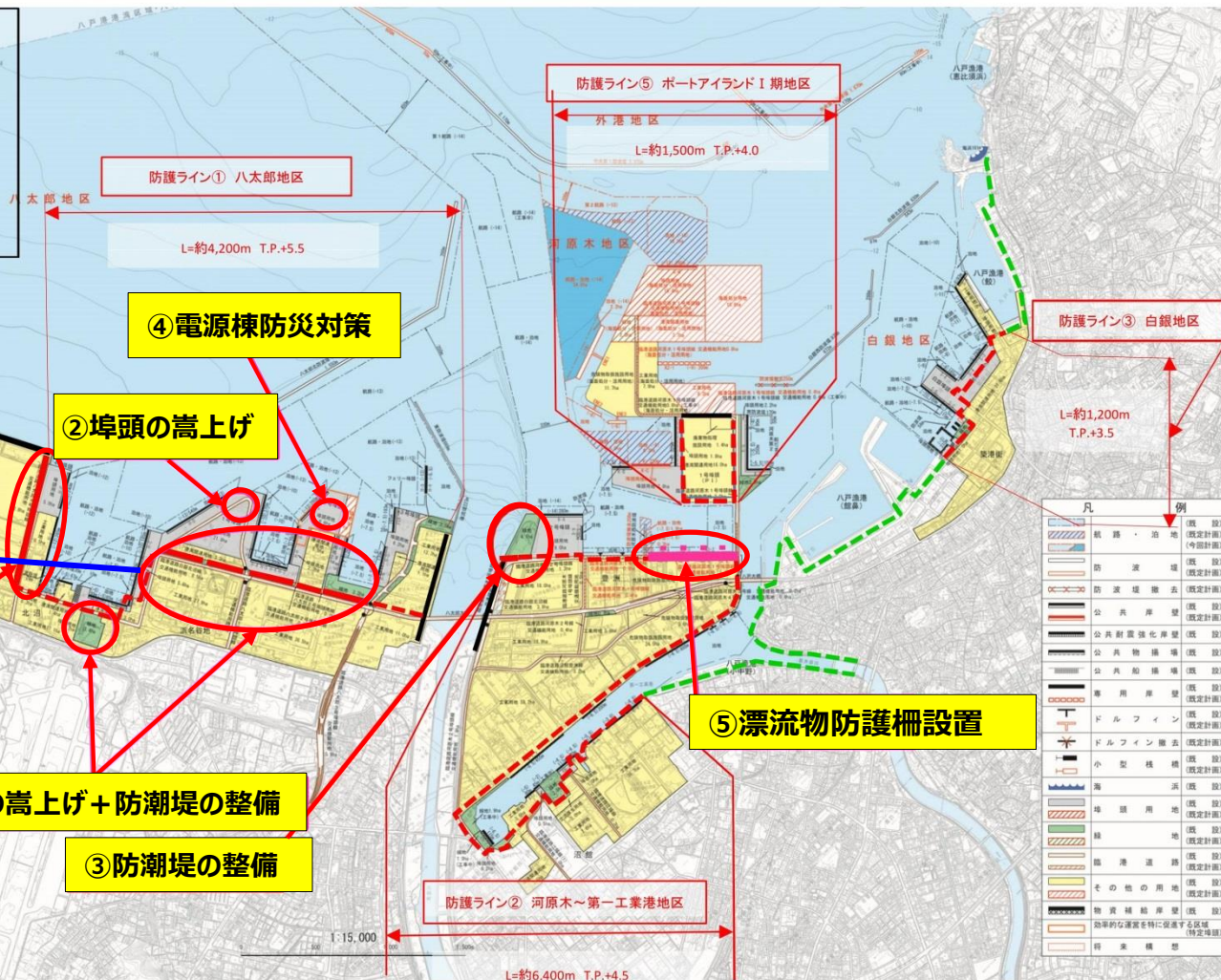
②埠頭の嵩上げ

④電源棟防災対策

②緑地の嵩上げ+防潮堤の整備

③防潮堤の整備

⑤漂流物防護柵設置



2号橋向線道路改良事業



◆事業概要

- ・整備路線 : 市道2号橋向線
- ・整備内容 : 車道拡幅
長さ=592.1m
幅=4.0m→6.0m
- ・事業期間 : H25～28年度
- ・事業費 : 約1億3,000万円

位置図 (多賀地区・五戸川南側)



整備前



整備後



車道 @4.0m×1
路肩 @1.0m×2

◆事業概要

五戸川河口の南側へ、海岸堤防および陸こうを整備。

- ・堤防延長 : 480m
- ・事業期間 : H21～25年度

被災直後の船だまり周辺の様子



整備後（市川海岸堤防）



整備後（陸こう）



◆被害の状況（青森県三八地域県民局 地域農林水産部林業振興課の調査）

- ・保安林約41haのうち、津波により流出・倒伏した面積 ⇒ 約5ha
- ・塩害等により立ち枯れした面積 ⇒ 6.4ha

◆事業概要

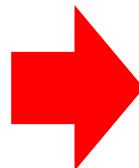
- ・整備内容 : ①クロマツ苗木の植栽 ⇒ 12.88ha

- ②静砂工の実施 ⇒ 33,353m

※「静砂工」とは、強風による苗木の埋没を防ぐとともに、塩害や寒風等から苗木を守るため、10m×5mの区画で植栽地を囲むように丸太を打ち込み、苗木の生育環境を保護する工法

- ・事業期間 : H23～28年度

倒伏した保安林(23.3.14撮影)



整備後



◆事業概要

東日本大震災を契機に定められたL1津波（比較的発生頻度の高い津波）が越流しないよう、五戸川河口から約1.8kmの区間の堤防を嵩上げ。

- ・計画延長 : 3,490m（両岸分）
- ・事業期間 : H23～30年度

- H25年度 ⇒ 地域住民への事業説明会、用地測量、詳細設計
- H26年度 ⇒ 用地取得
- H27年度～ ⇒ 用地取得、堤防嵩上げ工事

五戸川河口部



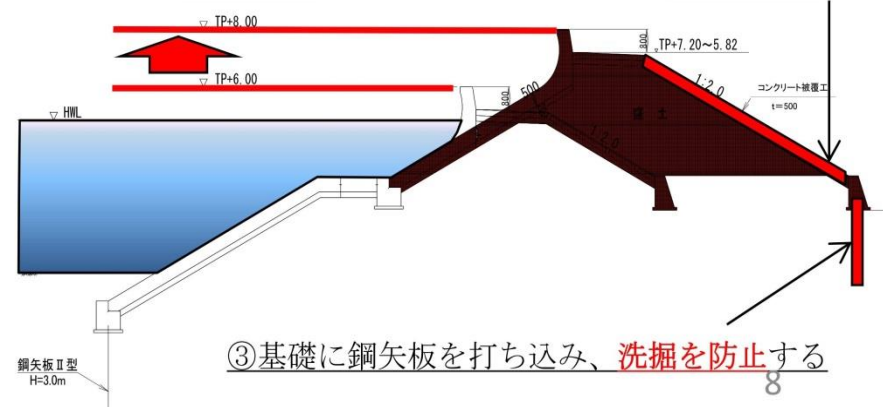
東日本大震災では五戸川で引き波と押し波が衝突し堤防から越流しました。（木村権三郎氏撮影・提供）

計画堤防横断図

整備方針：既設堤防を2m嵩上げし、粘り強い構造へ改良する

①既設の堤防を2m嵩上げる

②裏法を被覆し流出を防止する



③基礎に鋼矢板を打ち込み、洗掘を防止する

県公表資料(H25.9.6 創造的復興に向けた三八地域県民局の取組状況)より

◆事業概要

- ・整備路線 : 県道橋向五戸線
- ・整備内容 : 歩道拡幅等
長さ=約300m
幅=7.2m~11.1m→12.5m
- ・事業期間 : H23~27年度
- ・事業費 : 3億1,200万円

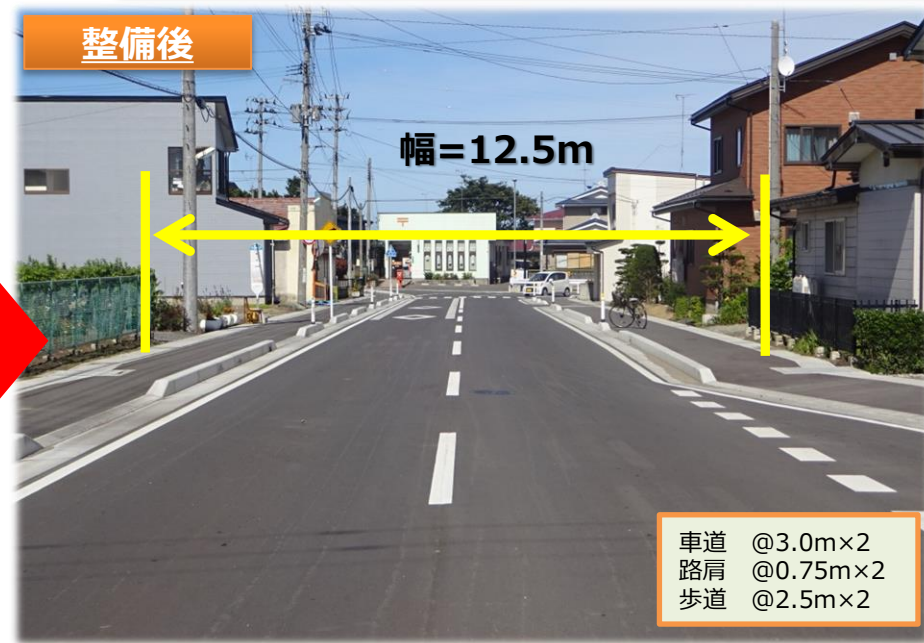
位置図（多賀地区・五戸川北側）



整備前



整備後



八戸市の復興状況 位置図



※赤字は完了事業、黒字は継続中の事業
 ※★マークは位置図に写真を掲載している事業